

科目名	臨床歯科医学・口腔外科学			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年	必修・選択	必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>音声言語の臨床に密接に関わる口腔の解剖学・生理学を習得し、口腔疾患と口腔機能障害に関する言語聴覚士の役割を理解する。</p>							
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 口腔疾患と口腔機能障害について概説する</li> <li>2. 音声言語臨床と深く関連する口蓋裂、顎口腔腫瘍、神経障害の原因、治療法、リハビリテーションについて解説する</li> </ol>							
<p>〔講師の実務経験〕</p>							
<p>〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リハビリテーションと口腔機能について理解する</li> <li>2. 口蓋裂の治療とリハビリテーションについて理解する</li> <li>3. 顎口腔腫瘍の治療法とリハビリテーションについて理解する</li> <li>4. 口腔に関わる神経疾患の治療法とリハビリテーションについて理解する</li> </ol>							
回数	講義内容						
1	総論:リハビリテーションと口腔機能(1)						
2	基礎(1)口腔解剖と口腔生理						
3	基礎(2)口腔解剖と口腔生理—口蓋裂を学ぶ理由						
4	基礎(3)口蓋帆咽頭(いわゆる鼻咽腔)閉鎖機能の解剖・生理						
5	基礎(4)口蓋帆咽頭(いわゆる鼻咽腔)閉鎖機能不全症の治療						
6	歯・口腔・顎・顔面の構造と機能(1)						
7	歯・口腔・顎・顔面の構造と機能(2)						
8	歯・口腔・顎・顔面の疾患概論						
9	歯・口腔・顎・顔面の疾患各論 ～口唇・口蓋裂(1)～						
10	歯・口腔・顎・顔面の疾患各論 ～口唇・口蓋裂(2)～						
11	歯・口腔・顎・顔面の疾患各論 ～顎口腔腫瘍～						
12	歯・口腔・顎・顔面の疾患各論 ～顎変形症、外傷、粘膜疾患、顎関節症～						
13	歯・口腔・顎・顔面の機能障害の診断(1)						
14	歯・口腔・顎・顔面の機能障害の診断(2)						
15	歯・口腔・顎・顔面の機能障害の治療						
<p>【 準備学習・時間外学習 】</p>							
<p>【 使用テキスト 】</p>							
書籍名		著者名		出版社			
言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学				医歯薬出版株式会社			
<p>【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】</p>							
<p>試験、100点満点で評価する。</p>							